

2020年3月期第2四半期累計期間

業績レビューと見通し

2019年10月31日

株式会社 昭和システムエンジニアリング

目次

会社概要	3
2020年3月期第2四半期累計期間 業績レビュー	
1 業績概要	5
2 経営成績	6
3 業種別売上比率（全社）	7
4 業種別売上高（全社）	8
5 業績推移（過去5年における第2四半期累計期間）	
(1) 全社	9
(2) セグメント別業績推移	10
6 貸借対照表	11
2020年3月期 業績見通し	
7 対処すべき課題の進捗状況	13
8 2020年3月期業績見通し	14

□会社概要

社名	株式会社 昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 情報システムの開発・ システムインテグレーション・サービス・ 情報システムの開発・運用に関するコンサルティング・ BPOサービス
社員数	441名（2019年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	1,226名（2019年9月30日現在）

2020年3月期第2四半期累計期間

業績レビュー

1. 業績概要（2020年3月期第2四半期累計期間）

売上高

3,042百万円

(前年同期：3,036百万円)

営業利益

264百万円

(前年同期：266百万円)

四半期純利益

183百万円

(前年同期：185百万円)

経済動向

- ・わが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調が続いている
- ・世界経済は、米国の通商政策等による貿易摩擦や中東・東アジア地域における地政学上のリスク等の影響が懸念され、先行き不透明な状況

情報サービス産業の動向

- ・政府公表による「Society5.0」時代の商用化実現に向けて、ICTの更なる活用が見込まれる
- ・新技術の高度化、多様化に対応するための技術者不足も課題となるなか、引き続き情報サービス産業に対する需要の拡大が見込まれている

当社の動向

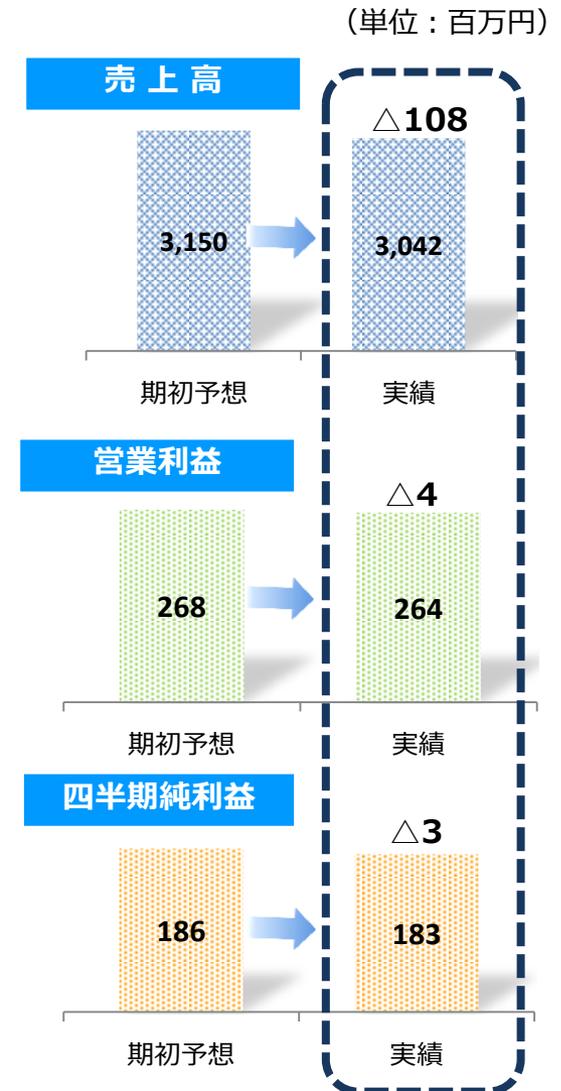
- ・従来からの“Traditional IT Business”を維持・拡大し、新たな“Digital Business”商談へ提案、受注活動を実施

2. 経営成績（2020年3月期第2四半期累計期間）

当期期初予想値に対し、新たなDigital Businessの売上高は下期に偏重傾向で減収。営業利益、四半期純利益はほぼ予想値とおりで推移

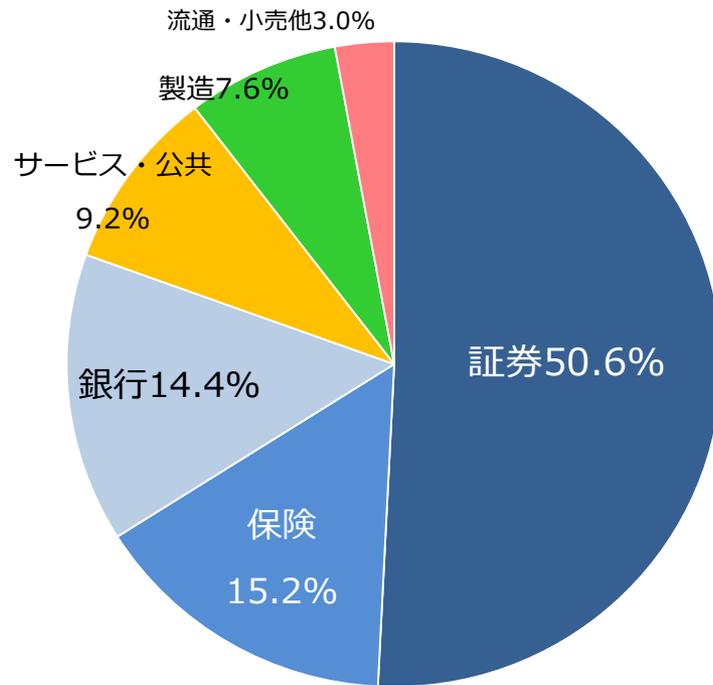
（単位：百万円）

	期初予想	実績	増減	
売上高	3,150	3,042	△108	△3.4%
営業利益	268	264	△4	△1.5%
(営業利益率)	(8.5%)	(8.7%)	(＋0.2pt)	
四半期純利益	186	183	△3	△1.6%

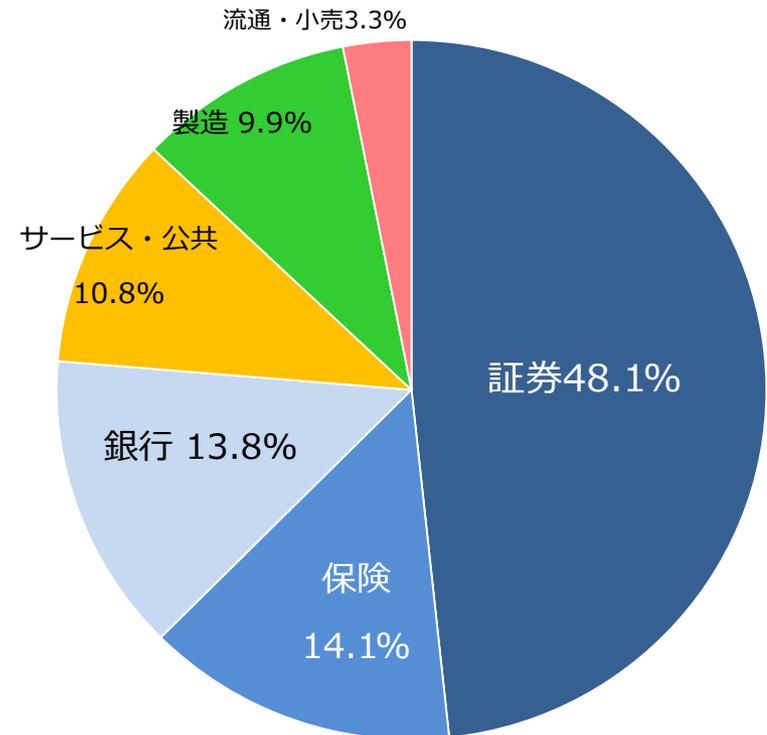


3. 業種別売上比率（全社）

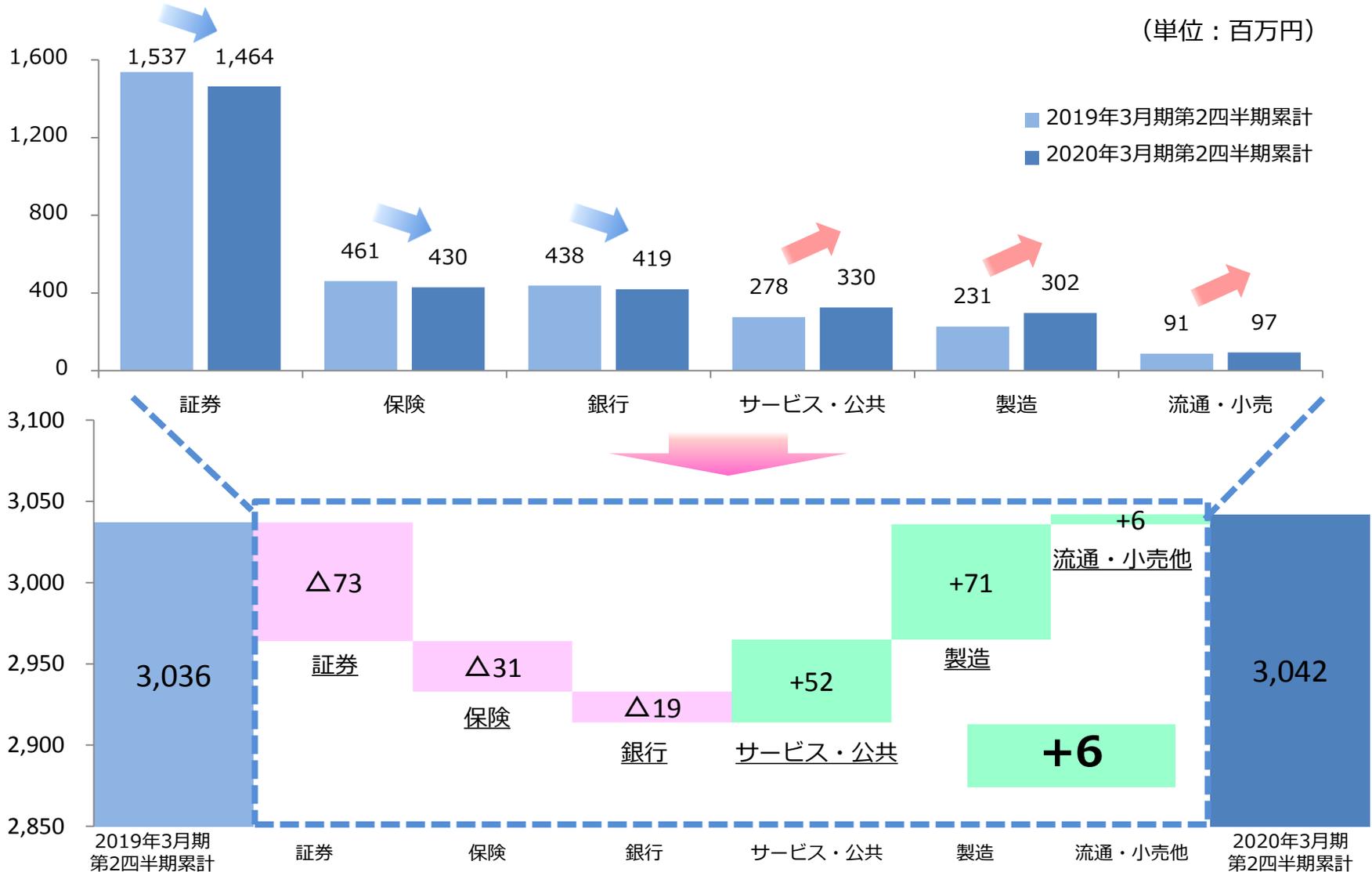
2019年3月期 第2四半期累計



2020年3月期 第2四半期累計



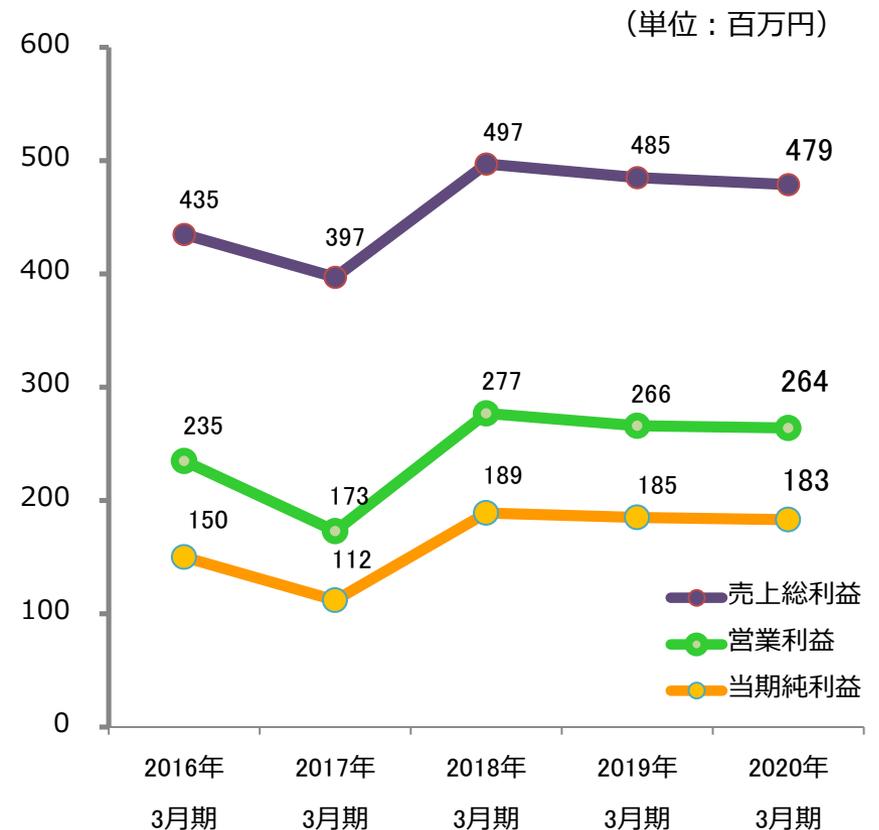
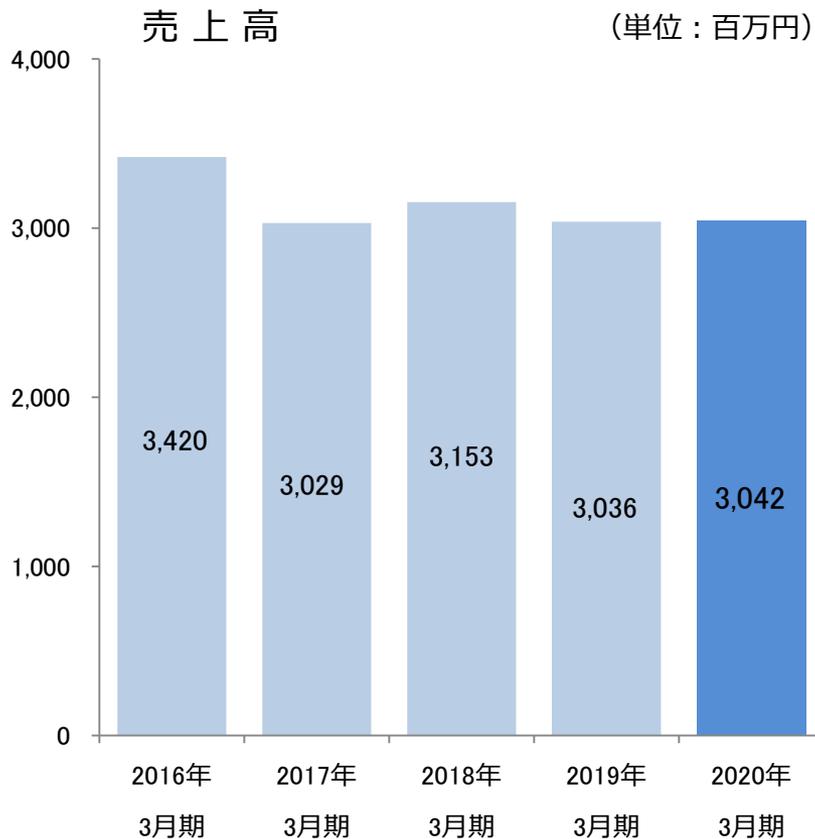
4. 業種別売上高（全社）



5. 業績推移 (過去5年における第2四半期累計期間)

過去5年を通じ堅実な業績で推移

(1) 全社

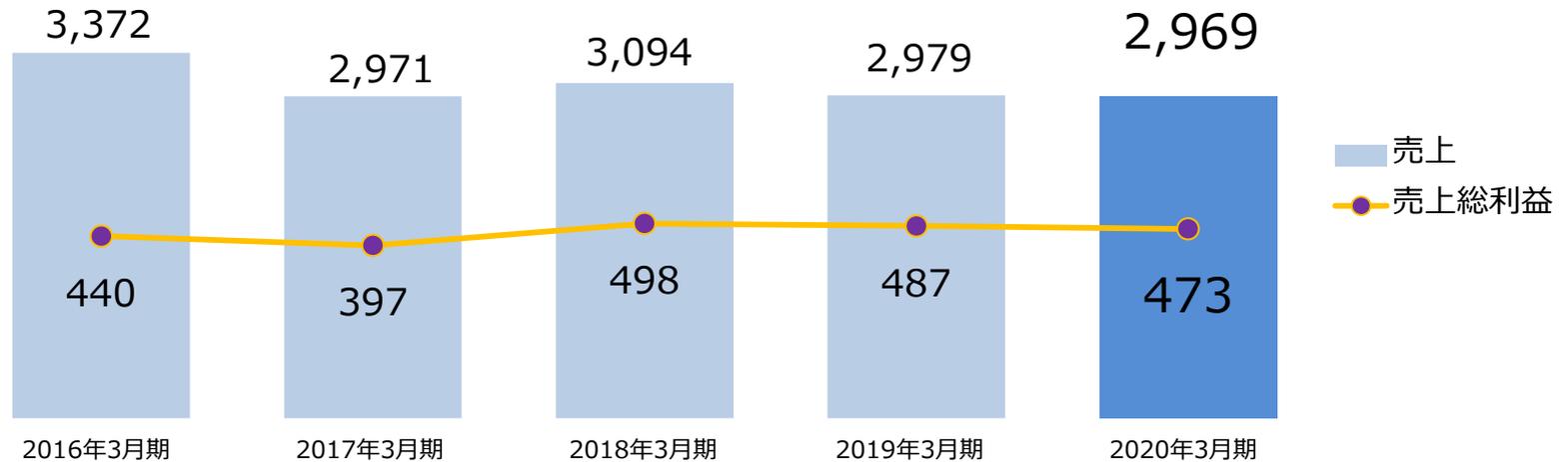


5. 業績推移 (過去5年における第2四半期累計期間)

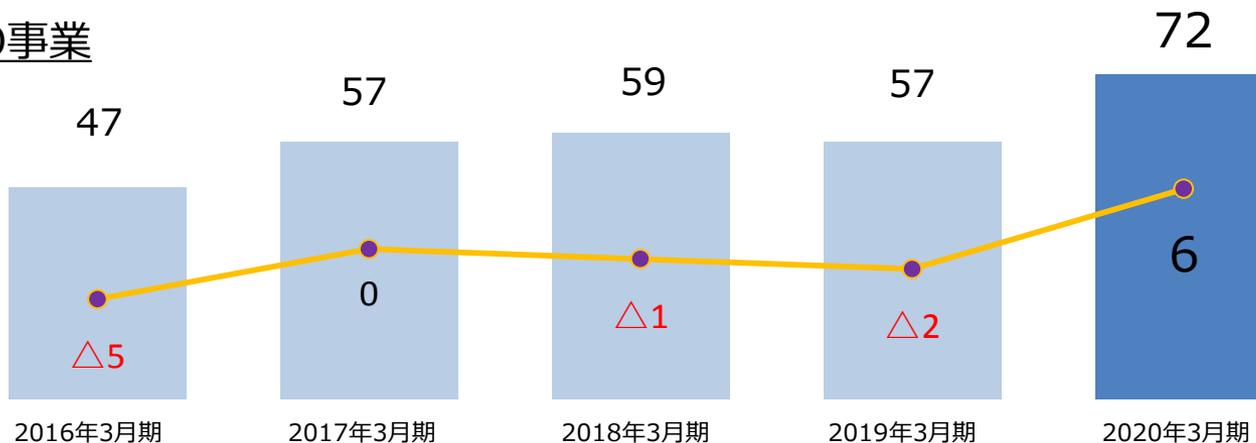
(2) セグメント別業績推移

ソフトウェア開発事業

(単位：百万円)



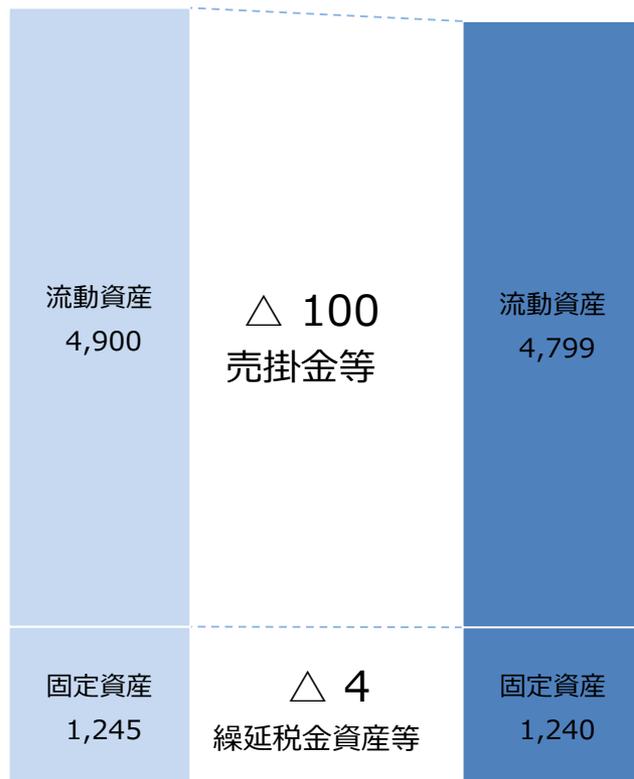
BPO事業



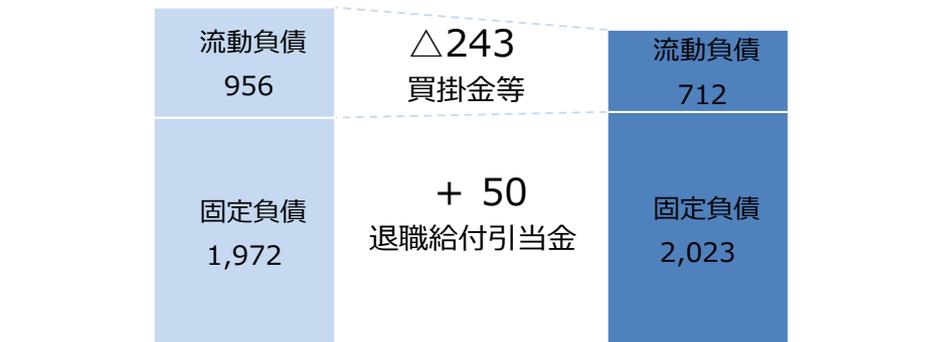
6. 貸借対照表

(単位：百万円)

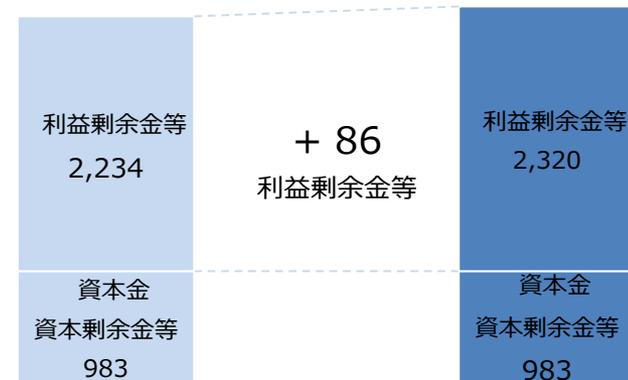
資産の部



負債の部



純資産の部



2019年3月期 期末

2020年3月期 第2四半期末

2020年3月期

業績見通し

7. 対処すべき課題の進捗状況

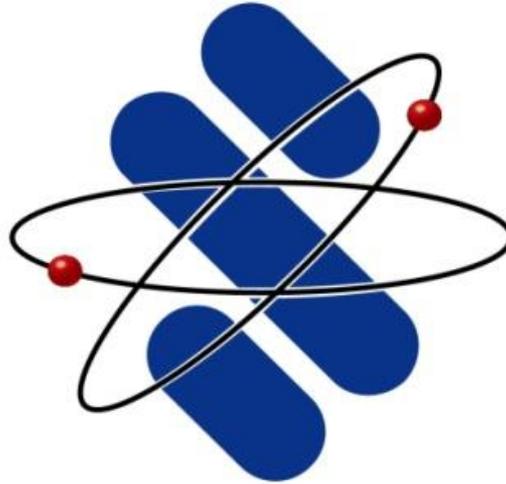
対処すべき課題	年度施策	進捗状況	下期
1.ナレッジ型 ビジネスの 深化と拡大	<ul style="list-style-type: none"> 証券分野の維持／拡大 非証券分野も含めた 選択と集中 	<ul style="list-style-type: none"> 証券分野の既存顧客において、 有識者の投入により規模拡大 銀行系/保険系分野において、有識 者を投入し規模拡大 	○ →
2.デジタルビジネス への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビジネス領域 への参入拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への提案活動を推進 タスクチームを中心にデジタル ビジネス企画・立案に注力 	△ →
3.技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビジネス人材 の戦略的な育成 	<ul style="list-style-type: none"> 上期育成は計画通り推移 下期育成計画も予定通り推移出来 る見通し 採用計画達成に向けて活動を継続 	○ →
4.ビジネスパート ナー維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> 異業種を含めた協業 関係の構築 ファクトリー型請負 ビジネスの有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的なリレーション構築を継続 現時点で要員の流動は発生して いないが受入体制の構築を継続 	△ →
5.採算管理体制の 維持・強化	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの監視 ／マネジメント支援 の維持・継続 	<ul style="list-style-type: none"> 施策が有効に機能し、不採算案件 発生抑止を実現 上期の不採算案件は0件 	◎ →

引き続き上記施策に注力

8. 2020年3月期業績見通し

(単位：百万円)

	(前年同期) 2019年3月期実績	公表値（5月14日）から変更はありません	
		2020年3月期 通期予想	
		通期予想	前年同期比
売上高	6,210	6,400	+190
営業利益	476	492	+16
経常利益	485	500	+15
当期純利益	324	333	+9



 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

(注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。